

教育要覧

昭和 58 年度



萩市立図書館



110357860

萩市教育委員会

萩市立図書館

370

3





萩市民憲章

- 1. 美しい自然と 豊かな詩情のまち
萩をまもりましょう
- 1. 輝かしい歴史のうえに 新しい文化のまち
萩をつくりましょう
- 1. 明るい社会と のびゆく産業のまち
萩をそだてましょう

(市の花)



はぎ

萩市の地名そのものであり、野山にも多く群生しています。かれんな花は市民から親しまれています。



つばき

市内には銘木、古木など全国的にも珍しい原生林があり、萩の古名にも関係があるといわれています。

(市の木)



くろまつ

北浦海岸に多く、特に市内にはその歴史を物語る大木があり、泰然自若とした姿は萩市にふさわしいものです。

目 次

I 萩市の概要	1
1 萩市の沿革	1
2 位置・面積	2
3 人口の推移	3
4 産業別就業者数	3
5 一般会計決算の状況	3
II 萩市教育の基本方針	4
1 萩市教育の基本方針	4
2 昭和58年度の重点施策	4
III 教育行財政	5
1 教育委員会の機構	5
(1) 教育委員	5
2 萩市教育委員会事務局・教育機関	5
(1) 所在地	5
(2) 事務局の組織	5
(3) 教育機関の所在地	5
(4) 職員	6
3 教育財政	6
(1) 昭和58年度教育予算の概要	6
(2) 一般会計予算と教育費の割合	6
(3) 昭和58年度教育費内訳	7
IV 学校教育	8
1 基本方針	8
2 昭和58年度の重点目標	8
3 昭和58年度重点施策	8
4 教育指導	9
(1) 昭和58年度萩市小・中学校研究主題一覧	9
(2) 昭和58年度研究指定校	10
(3) 特殊教育	10
(4) 学校同和教育推進計画	11
5 教職員・生徒	13
(1) 小・中学校教職員・児童生徒一覧	13
(2) 児童・生徒の推移	15

6. 学校保健・給食	16
(1) 学校保健	16
(2) 学校給食	17
7. 就学援助	18
8. 学校寄宿舍	18
9. その他	19
V 社会教育	20
1. 基本方針	20
2. 昭和58年度の重点目標	20
3. 各種委員会	21
4. 社会教育関係団体	21
5. 学級・教室・講座	22
6. 芸術・文化活動	22
(1) 文化活動	22
(2) 社会教育施設	23
1. 公民館	23
2. 図書館	25
3. 郷土博物館	26
4. 松陰遺墨展示館	28
(3) 文化施設	28
(4) 文化財保護	29
7. 社会同和教育計画	31
8. 社会体育	33
VI 資料	34
1. 学校教育施設	34
(1) 市立学校	34
(2) 県立学校	35
(3) 私立学校	35
(4) 学校寄宿舍	36
(5) 教員住宅	36
2. 社会教育施設	37
3. 社会体育施設	38
4. 文化施設	39
5. 指定文化財一覧	40
VII 学校位置図	

人口の推移 I 萩市の概要

1. 萩市の沿革

萩市は、中国山脈に源を発した阿武川の下流に形成されたデルタ上に発達した都市であって、その中心となる旧城下町は、東南北の三方に余り高くない山岳と、その麓をめぐる阿武川下流の松本川、橋本川の清流に抱かれ、北は北長門国定公園たる海岸を含み、山と水の景色豊かな美しい土地である。

市内各所に発見される弥生式土器、大井地区の大小の古墳、大井、椿東地区の奈良時代の寺院遺跡、平安時代、鎌倉時代創建寺院の存在、戦国時代に石見国三本松城主吉見正頼が指月山下に別荘を構えた等の史実もあるが、近世初期毛利氏の築城により国史上に顕著な都市として登場した。

慶長9年(1604)毛利元就の孫、毛利輝元が、指月山に築城以来文久3年(1863)山口に藩庁を移すまで長防二国の首都として、城下町の繁栄を誇ること260年間であった。この間特に経世、学芸に優れた人を生み、ついに明治維新の大革新の中心人物を多数輩出したことはあまりにも有名である。

明治4年7月廃藩置県にあたり、山口県庁の支庁を米屋町下り筋に置き、明治22年4月町村制実施にあたり、萩町及び椿郷東分村、椿郷西分村、山田村の4自治団体を置き、大正12年4月にこれらを合併して萩町を置いた。昭和7年7月1日市制を施行し、以来道路の整備拡張、上水道の布設、港湾、漁港の修築、社会福祉施設の整備拡充につとめ漸次近代的都市への面目を備えるに至ったが、昭和30年3月1日隣接の三見村、大井村及び日本海上の六島村、見島村の4村を編入合併して市域の拡大を見た。

現在、基礎産業施設の充実を重点として、道路及び港湾の整備をはじめ、既存諸施設の改築改良、更に体育文化施設、東萩駅前再開発等着々と整備が進んでいる。一方現在の街路や武家屋敷の町並は江戸時代や明治時代の趣きをいたる所に色濃く残し、全国的にみても希少価値を持つ“緑と土塀のまちの萩市”である。



表紙説明

明倫館(模型)

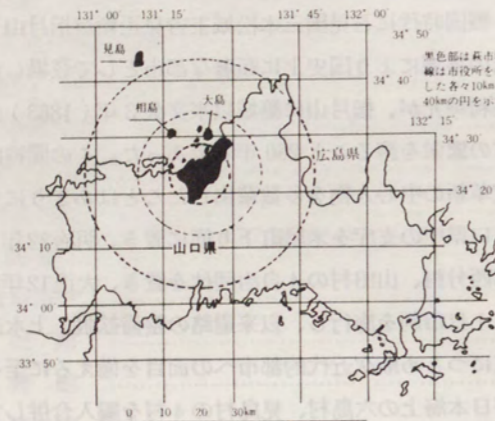
明倫館の敷地は約15,000坪、建物は47棟、旧明倫館は享保3年(1718)堀内三の丸に設置されたが、嘉永2年(1849)現在の明倫小学校の地に重建された。全国有数の規模であった。

2. 位置・面積

方位	地点	極限経緯度	隣接地
東端	大井上七重東方	東経131° 30' 1"	阿武郡福栄村
西端	見島西縁	" 131° 7' 43"	日本海
南端	西木間鯨岳	北緯 34° 17' 56"	美祿郡美東町
北端	見島北縁	" 34° 47' 50"	日本海

市役所 萩市江向510番地 北緯34° 24' 19" 東経131° 24' 05"
資料：博物館調 陸地 東西18.07km 南北21.68km

萩市の位置

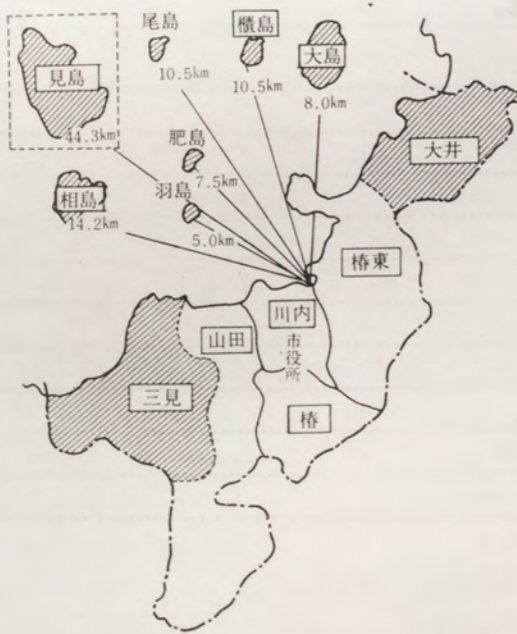


地区別面積

地区別	面積
総数	137.79km ²
川内	9.00
橋東	25.00
橋	14.00
山田	32.00
三見	24.40
大井	18.00
大島	3.09
相島	2.58
横島	0.70
羽島	0.30
尾島	0.40
肥島	0.30
見島	7.85

(注) 総数は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」昭51.10.1現在による。
内訳は概数。

萩市地区別図 (斜線はS30.3.1の 合併地区)



3. 人口の推移

年別	世帯数	人口	年別	世帯数	人口
昭和7年	7,063戸	32,671人	昭和35年	13,248戸	56,831人
昭和10年	7,160	32,587	昭和40年	13,935	53,905
昭和15年	7,125	32,270	昭和45年	14,802	52,541
昭和22年	10,386	42,146	昭和50年	15,671	52,724
昭和25年	9,604	41,613	昭和55年	17,228	53,287
昭和30年	12,383	57,621	昭和57年	17,408	52,997

市制施行 昭和7年7月1日

(各年10月1日現在)

4. 産業別就業者数

区分	50年		55年	
	総数	比率	総数	比率
第1次産業	6,227人	25.0	5,477人	20.9
農業	3,222	12.9	2,396	9.1
林業	45	0.2	43	0.2
漁業水産養殖業	2,960	11.9	3,038	11.6
第2次産業	5,009	20.2	5,447	20.8
鉱業	39	0.2	10	0.0
建設業	2,035	8.2	2,612	10.0
製造業	2,935	11.8	2,825	10.8
第3次産業	13,666	54.8	15,274	58.3
卸売・小売業	5,588	22.4	6,387	24.4
金融・保険・不動産業	495	2.0	580	2.2
運輸・通信業	1,600	6.4	1,583	6.0
電気ガス水道料	181	0.7	204	0.8
サービス業	4,733	19.0	5,444	20.8
公務他	1,069	4.3	1,076	4.1
合計	24,902	100.0	26,198	100.0

5. 一般会計決算の状況

年度別	種別	歳入	歳出
昭和52年度		7,581,017 千円	7,347,954 千円
" 53 "		9,854,278	9,528,906
" 54 "		9,718,496	9,404,020
" 55 "		11,386,904	10,956,585
" 56 "		12,160,383	11,906,878

Ⅱ 萩市教育の基本方針

1. 萩市教育の基本方針

近代科学の著しい進歩により、社会経済の飛躍的發展も、エネルギーを始めとする資源の有限等、経済基盤の根幹にふれる深刻な事態に直面しているなかで、この変動する国際社会に対応していく方策が立てられなくてはならない。

しかし、教育はただ単に社会の変化についていくといった皮相的なものでなく、正しく歴史を見通した上で教育の内容を深め、普遍的な真理を探究しつつ、動中静なるものを継続的に伝えようとする営みでなくてはならない。その意味において教育活動は、教育実践、教育研究、教育行政などを含んだ広範な領域において、これらが一体の形に密着して相互補完の関係に進められなければならない。

○豊かな人間性を根底とした、よりよき市民育成をめざし、生涯教育の観点から学校教育・社会教育を推進する。

○健全な教育観のもとに、具体的な実施計画をたて、着実に効率的な実践をする。

○教育条件の整備改善のため、施設・設備の充実と研究活動の促進を図る。

2. 昭和 58 年度重点施策

- 学校の教育目標達成のための学校経営の充実及び改善。
- 新学習指導要領の趣旨に即した教育課程の実践と評価。
- 自主的な学習態度の育成と基礎学力の充実。
- 人間尊重の精神を具現する生徒指導、進路指導の充実深化。
- 学校同和教育の深化。
- 教職員の研修の充実と研修成果の累積及び発展。
- 健康教育のための学校全体計画の確立と実践。
- 特殊教育、へき地教育の充実。
- 社会教育推進態勢の充実。
- 社会教育における学習活動の充実。
- 社会同和教育の拡充。
- 文化財の保護と活用。
- 体育・スポーツ及び保健活動をととして、明るく豊かな健康生活と生涯体育の推進。
- 施設・設備及び備品の整備と適正な管理。
- 効率的な経費の執行と節約の徹底。

Ⅲ 教育行財政

1. 教育委員会の機構

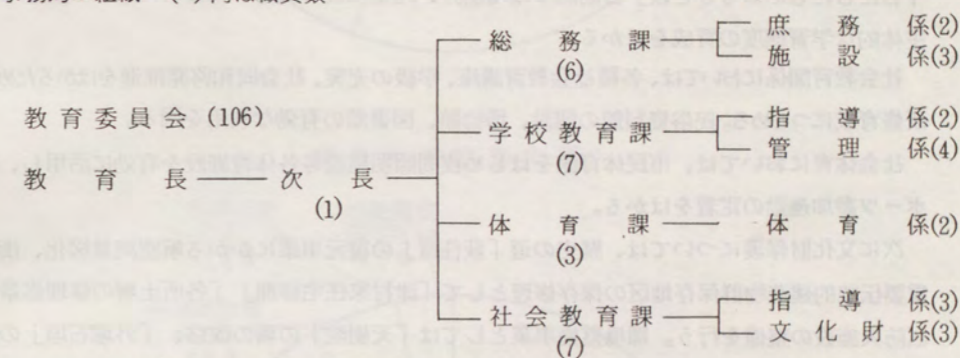
(1) 教育委員

役名	氏名	年令	職業	学歴	就任年月
委員長	宮本泰男	67	会社員	旧大卒	54.10
同職務代理	大津友一	57	酒造業経営	旧中卒	55.10
委員	柏木弘義	49	医薬品販売業	新大卒	56.10
委員	長谷忠仁	48	水産加工業	新高卒	57.10
教育長	池田正人	61		旧高専卒	57.7

2. 教育委員会事務局・教育機関

(1) 所在地 萩市大字江向 510 番地 〒758 TEL 08382(5)3141

(2) 事務局の組織 ()内は職員数



(3) 教育機関の所在地 ()内は職員数

中央公民館(兼6)	萩市大字江向	495番地の4	(5) 3149
三見公民館(1)	萩市三見	2,393番地	(7) 0004
大井公民館(1)	萩市大井	1,404番地	(8) 0213
大島公民館(1)	萩市大島	105番地	(8) 0584
見島公民館(1)	萩市見島	951番地の1	(083843) 3005
見島総合センター(兼1)	萩市見島	951番地の1	(083843) 3005
郷土博物館(4)	萩市大字江向	525番地の4	(5) 3142
図書館(3)	萩市大字江向	552番地の2	(5) 3143
松陰遺墨展示館(兼1)	萩市大字椿東	1,538番地の4	(2) 2410
市民館(6)	萩市大字江向	495番地の4	(5) 1234
学校寄宿舎(2)	萩市大字浜崎町	21番地	(5) 1099
萩市民体育館(2)	萩市大字椿	3,395番地の1	(5) 7311
萩市堀内体育館(兼1)	萩市大字堀内	127番地の6	(5) 9385
小学校(11校)(36)	うち小・中併置校	1校	
中学校(10校)(25)			

(4) 職 員

総 数	市 費 職 員		県 費 職 員	
	事務職員	給食ほか職員	事務職員等	教 員
462	51	50	38	323

3. 教 育 財 政

(1) 昭和 58 年度教育予算の概要

昭和 58 年度予算の総額は、12 億 5,300 万円で前年に比べ 3,707 万 6 千円の増額で、一般会計予算の中に占る割合は 12.6% である。増額の主なものは 2 ヶ年継続事業の 2 年目である指月中校舎改築並びにこれに伴う環境整備費であって、又地域の人口流入に伴う児童の漸増による学級増に対する暫定措置としての椿西小プレハブ教室の設置を。一方大規模校明倫小の廊下張替、第一中窓枠の取替、調理室屋根の葺替等老朽化に伴う施設の保全につとめる。

教育振興においては、教員研修を推進し教師の資質の向上をはかる。一方「松陰読本」「郷土萩」「わたしたちのふるさと萩」各副読本の増刷等、児童生徒の道徳、社会科において豊かな人間性と、主体的な学習態度の育成をはかる。

社会教育関係においては、各種社会教育講座、学級の充実、社会同和啓発推進をはかるため指導者の研修育成につとめる。民俗資料館の開設。博物館、図書館の有効な利用を図る。

社会体育においては、市民体育館をはじめ夜間照明施設等各体育施設を有効に活用し、市民総スポーツ参加運動の定着をはかる。

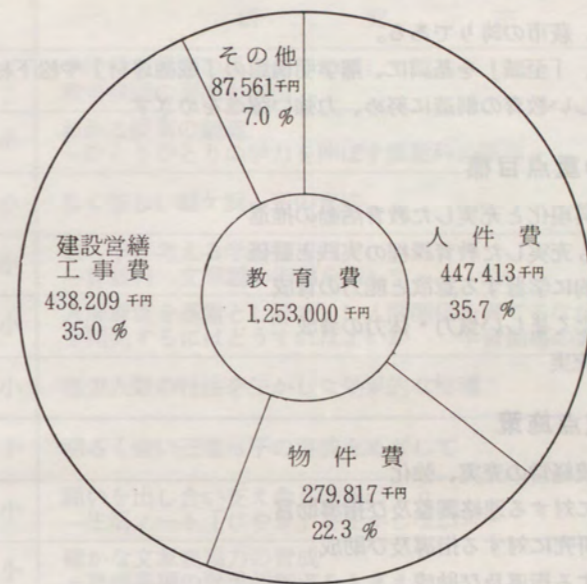
次に文化財保護については、歴史の道「萩往還」の復元事業にかかる航空測量図化、街道整備を、重要伝統的建造物群保存地区の保存修理として「津村家住宅修理」「各所土塀の修理修景」及び地区防災施設の整備を行う。環境整備事業としては「天樹院」の塀の改修、「外堀石垣」の整備。又文化財の愛護普及向上のため文化財説明板の設置を行う。

(2) 一般会計予算と教育費の割合

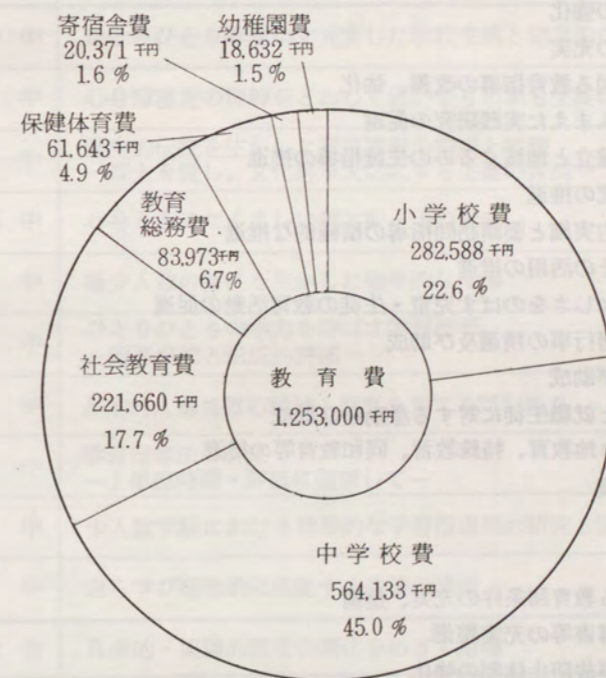
	昭和 54 年度	昭和 55 年度	昭和 56 年度	昭和 57 年度	昭和 58 年度
一 般 会 計 (A)	8,053,000 千円	8,730,000 千円	9,626,000 千円	10,020,000 千円	9,975,000 千円
教 育 費 (B)	1,015,144	1,277,924	922,172	1,215,924	1,253,000
比 率 $\frac{(B)}{(A)}$	12.6 %	14.6 %	9.6 %	12.1 %	12.6 %

(3) 昭和 58 年度教育費内訳

教育費性質別内訳



教育費目的別内訳



Ⅳ 学 校 教 育

1. 萩市学校教育の基本方針

教育尊重の伝統は、萩市の誇りである。

萩市の学校教育は、「至誠」を基調に、藩学明倫館の「成徳達材」や松下村塾の「師弟同行」の精神を継ぎ、さらに新しい教育の創造に努め、力強い躍進をめざす。

2. 昭和58年度の重点目標

- (1) 学校教育目標の具現化と充実した教育活動の推進
- (2) ゆとりあるしかも充実した教育課程の実践と評価
- (3) 一人一人が自主的に学習する意欲と能力の育成
- (4) 豊かな人間性とたくましい気力・体力の育成
- (5) 教職員の研修の充実

3. 昭和58年度重点施策

- (1) 地域性に立つ学校経営の充実、強化
 - ・教育課程の計画に対する連絡調整及び指導助言
 - ・学校経営の実践研究に対する指導及び助成
 - ・研究指定校に対する指導及び助成
- (2) 個性に応じた教職員の資質の向上
 - ・教育委員会が主催する研究会、研修会等の充実
 - ・教職員の主体的な研修に対する奨励及び助成
 - ・教育奨励賞制度の強化
 - ・教職員研修派遣の充実
- (3) ゆとりと充実を図る教育指導の改善、強化
 - ・学習指導要領をふまえた実践研究の促進
 - ・全校指導体制の確立と地域ぐるみの生徒指導の推進
 - ・道徳教育実践研究の推進
 - ・学校訪問の計画的実施と要請訪問指導の積極的な推進
 - ・諸検査の実施とその活用の推進
- (4) たくましさとやさしさをのばす児童・生徒の教育活動の促進
 - ・文化的、体育的諸行事の精選及び助成
 - ・集団宿泊研修及び助成
 - ・進路指導の充実と就職生徒に対する奨励及び助成
- (5) 一人を生かすへき地教育、特殊教育、同和教育等の推進
 - ・へき地教育の充実
 - ・特殊教育の強化
 - ・同和教育の深化
- (6) 充実感を持たせる教育諸条件の充実、整備
 - ・教科用図書、指導書等の充実整備
 - ・交通事故や水難事故防止体制の強化
 - ・親の教育手帳の配布とその活用の推進
 - ・教育関係団体の活動奨励及び助成
 - ・「郷土萩」「わたしたちのふるさと萩」「松陰読本」の配布と郷土学習の推進

4. 教育指導

(1) 昭和58年度萩市立小・中学校研究主題一覧

学 校 名	研 究 主 題
小	明 倫 小 学校教育目標の具現化をめざして 教育課程の実施と評価
	椿 東 小 わかる授業の創造 －ひとりひとりの学力を伸ばす算数科の指導－
	越 ヶ 浜 小 たくましい越ヶ浜っ子の育成
学	椿 西 小 自ら学び考える学習指導 －算数科 文章題の指導を通して－
	白 水 小 人間尊重を基盤とし好ましい人間関係を育てるなかでひとりひとりの能力 を開発するにはどうすればよいか 学習指導の実証的研究
	木 間 小 極少人数の特性を生かした効果的な指導
	三 見 小 明るく強い三見っ子の育成をめざして
	大 井 小 願いを出し合い支え合う学級づくり －生活ノート「けやき」を生かしながら－
校	大 島 小 確かな文章表現力の育成 －言語事項の効果的指導をふまえて－
	相 島 小 読みとりを深めるための国語指導のあり方 －読みとりの基礎能力を育てるための指導－
	見 島 小 生き生きとした子どもの育成をめざす教育課程の研究と実践 －自ら進んで活動する子どもの育成－
中	萩 第 一 中 ひとりひとりを生かす充実した学校生活と効果的な学習指導をめざして
	明 経 中 心身障害児の理解をとおして思いやりのある生徒の育成
	指 月 中 歴史的伝統を生かした教育課程の編成と実践 －郷土を愛し、文化財を大切に生徒の育成－
	越 ヶ 浜 中 心身ともにたくましい越ヶ浜っ子の育成
	木 間 中 極少人数の特性を生かした効果的な指導
	三 見 中 ひとりひとりの学力を伸ばす学習指導 －到達目標と形成的評価－
	大 井 中 基本的人権尊重の精神と態度を育てる同和教育
	大 島 中 学習指導法の研究 －1単位時間・評価に留意して－
校	相 島 中 少人数学級における効果的な学習指導法の研究と実践
	見 島 中 自ら学び意欲的に活動する生徒の育成
学 校 寄 宿 舎	自律的・協調的態様の深化をめざす指導

(2) 研究指定校

学校名	指定	研究領域	研究主題	指定年度
明倫小	市教委	教育課程	学校教育目標の具現化をめざして教育課程の実施と評価	57・58
越ヶ浜小	県教委	たくましい防長っ子を育てる運動	たくましい越ヶ浜っ子の育成	58・59
大井小	文部省 県教委 市教委	同和教育	願いを出し合い支え合う学級づくり —生活ノート「けやき」を生かしながら—	57・58
見島小	市教委	教育課程	生き生きとした子どもの育成をめざす教育課程の編成と実践 —自ら進んで活動する子どもの育成—	57・58
萩第一中	文部省 市教委	教育課程	ひとりひとりを生かす充実した学校生活と効果的な学習指導をめざして	58・59
明経中	文部省 (推進校) 市教委	心身障害児理解	心身障害児の理解をとおして思いやりのある生徒の育成	58・59
指月中	県教委 (センター校) 市教委	郷土史教育	歴史的伝統を生かした教育課程の編成と実践 —郷土を愛し文化財を大切にす生徒の育成—	56・57・58
越ヶ浜中	県教委	たくましい防長っ子を育てる運動	心身ともにたくましい越ヶ浜っ子の育成	58・59
三見中	市教委	学習指導	ひとりひとりの学力を伸ばす学習 —到達目標と形成的評価—	57・58
大井中	市教委	同和教育	基本的人権尊重の精神と態度を育てる同和教育	57・58

(3) 特殊教育

1. 精神薄弱児学級

校種	番号	校名	学級数	児童・生徒数						担任	備考	
				1	2	3	4	5	6			計
小学校	1	明倫	1	1	1	1	1	1	1	5	1	
	2	椿東	1	2		1		1	1	5	1	
	3	大島	1				1		1	2	1	
		計	3	3	1	2	2	2	2	12	3	
中学校	1	明経	1	2	3	1				6	2	
	2	指月	1	4		1				5	1	
		計	2	6	3	2				11	3	
		合計	5	9	4	4	2	2	2	23	6	

2. 肢体不自由児学級

校種	校名	学級数	児童・生徒数						担任	備考	
			1	2	3	4	5	6			計
小	明倫	1		2				1	3	1	
中	明経	1	1	1	2				4	1	

3. 情緒障害児学級

校種	校名	学級数	児童・生徒数						担任	備考	
			1	2	3	4	5	6			計
小	明倫	1	1	1	2	1			5	2	
中	明経	1		3	1				4	2	

4. 言語障害児学級

校種	校名	学級数	児童数						担任	備考	
			1	2	3	4	5	6			計
小	明倫	2	3	3	2	2	3	2	15	3	

利用者数	内容別	萩市立明倫小学校 ことばの教室									
		地教委別		旭村	川村	福村	阿武町	須佐町	田万川町	その他	合計
	教育相談	3	20(20)	0	0	0	1(1)	0	1(1)	0	25
	通級	26	3	0	0	0	0	0	1	0	30
	修了	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	退級・転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 教育相談者の()は幼児を表わす。

(昭和58年3月末日)

(4) 学校同和教育推進計画

1. 基本方針

同和对策審議会の答申の趣旨に基づき、人類普遍の原理である人間の自由と平等にかかわる同和問題を正しく認識し、基本的人権の確立を目指して、全教職員の同和教育観の確立を図り、個人の尊厳を重んじ、差別をみんなで解決する実践的態度を身につけた児童・生徒の育成に努める。

2. 努力事項

(1) 学校同和教育の深化

- ア 同和問題の正しい認識による全教職員の同和教育観の確立
- イ 全教職員による指導推進体制の強化
- ウ 研究指定校、各学校の課題の具体化

(2) 同和教育全体計画、年間指導計画の改善と指導の深化

- ア 年間指導計画に基づく実践と改善
- イ 同和教育資料の活用

(3) 学校と家庭・地域との連携による具体的な同和教育の推進

- ア 保護者啓発の計画と実践
- イ 地域の関係諸機関との連携の強化

(4) 学力の向上と個に即した進路指導の徹底

- ア 個に即した学業指導と進路指導の充実
- イ 進学奨励費制度等の趣旨の理解と保護者との連携

3. 同和教育推進事業計画

第1学期

- (1) 推進計画の説明(同和教育主任会等)
地区別同和教育研修会の開催

(2) 研究指定校訪問

第2学期

- (1) 同和教育主任会の開催(推進上の諸問題について協議)
- (2) 保護者同和教育研修会(各学校、とくに小学校6年生、中学校2年生の保護者を対象とする)
- (3) 研究指定校訪問

第3学期

- (1) 同和教育研究集録の作成
- (2) 同和教育主任会の開催(実践の反省)

4. 同和教育指導資料等の刊行

年度	資料名	類別	発行部数	配付対象
46	同和教育実践の手びき	資料集	350部	市内全教員
47	同和教育顕現的指導内容の指導事例集	資料集	350部	市内全教員
47	同和教育読本指導事例集(第二集)	資料集	50部	市内各校
48	同和教育計画および指導事例集(第三集)	資料集	50部	市内各校
49	同和教育計画(第四集)	資料集	150部	市内各校
50	同和教育年間指導計画(第五集)	資料集	120部	市内各校
51	同和教育指導事例集(第六集)	資料集	120部	市内各校
52	同和教育指導事例集(第七集)	資料集	120部	市内各校
53	同和教育指導事例集(第八集)	資料集	120部	市内各校
54	同和教育指導事例集(第九集)	資料集	120部	市内各校
55	同和教育指導事例集(第十集)	資料集	120部	市内各校
56	同和教育指導事例集(第十一集)	資料集	120部	市内各校
57	同和教育指導事例集(第十二集)	資料集	60部	市内各校

5. 教職員・児童生徒

(1) 小学校教職員・児童生徒一覧

学年	学級	氏名	(男) 人数			(女) 人数			合計
			数	名	姓	数	名	姓	
小	1年	1年1組	11	山田	山田	12	山田	山田	24
		1年2組	12	山田	山田	13	山田	山田	25
		1年3組	13	山田	山田	14	山田	山田	27
	2年	2年1組	14	山田	山田	15	山田	山田	29
		2年2組	15	山田	山田	16	山田	山田	31
		2年3組	16	山田	山田	17	山田	山田	33
	3年	3年1組	17	山田	山田	18	山田	山田	35
		3年2組	18	山田	山田	19	山田	山田	37
		3年3組	19	山田	山田	20	山田	山田	39
	4年	4年1組	20	山田	山田	21	山田	山田	41
		4年2組	21	山田	山田	22	山田	山田	43
		4年3組	22	山田	山田	23	山田	山田	45
5年	5年1組	23	山田	山田	24	山田	山田	47	
	5年2組	24	山田	山田	25	山田	山田	49	
	5年3組	25	山田	山田	26	山田	山田	51	
6年	6年1組	26	山田	山田	27	山田	山田	53	
	6年2組	27	山田	山田	28	山田	山田	55	
	6年3組	28	山田	山田	29	山田	山田	57	
合計		210	山田	山田	220	山田	山田	430	

5. 教職員・児童生徒

(1) 小・中学校教職員・児童生徒一覧

校種別	番号	学校名	所在地	校長名	教頭名	児童・生徒数			学級数			教職員(県費)					職員(市費)			備考
						普通	特殊	計	普通	特殊	計	校長 教頭 教員	養 学	護 養	事 務	計	事 務	給 食	計	
小 学 校	1	明倫	江向	柳井治彦	河上浩	1,722	28	1,750	41	5	46	56	2	2	60	3	8	11		
	2	椿東	椿東	森重良雄	小野衛	1,068	5	1,073	27	1	28	33	2	1	36	2	5	7		
	3	越ヶ浜	越ヶ浜	横山繁	山本博一	472	0	472	12	0	12	15	1	1	17	0	3	3		
	4	椿西	椿	河村哲郎	佐々木正実	269	0	269	9	0	9	12	1	1	14	0	2	2		
	5	白水	山田	佐村孝和	伊藤令一	448	0	448	12	0	12	16	1	1	18	0	3	3		
	6	木間	木間	真庭勉	野坂成子	18	0	18	3	0	3	5	1	0	6	0	1	1	へき地1級	
	7	三見	三見	白上岩男	石津昭政	181	0	181	6	0	6	8	1	1	10	0	2	2		
	8	大井	大井	松田輝夫	田中浩	288	0	288	11	0	11	14	1	1	16	0	3	3		
	9	大島	大島	松井勝太郎	宇田川憲吾	104	2	106	6	1	7	9	1	1	11	0	1	1	へき地1級	
	10	相島	相島	岩本昭穂	和田辰雄	40	0	40	3	0	3	5	0	0	5	0	1	1	へき地3級	
	11	見島	見島	山谷馨作	松浦好古	178	0	178	6	0	6	8	1	1	10	0	2	2	へき地3級	
計						4,788	35	4,823	136	7	143	181	12	10	203	5	31	36		
中 学 校	1	萩第一	土原	茂刈義一	伊東康夫	1,004	0	1,004	24	0	24	41	2	2	45	2	5	7		
	2	明経	土原	西村武正	山中茂	225	14	239	6	3	9	18	1	1	20	0	2	2		
	3	指月	堀内	松井睦男	瀬田禮治	517	5	522	12	1	13	22	1	1	24	1	3	4		
	4	越ヶ浜	越ヶ浜	橋本浩太郎	高田正信	229	0	229	7	0	7	13	1	1	15	0	2	2		
	5	木間	木間	真庭勉	西沢憲三	8	0	8	2	0	2	5	0	0	5	0	0	0	へき地1級 校長兼務	
	6	三見	三見	中村金二	吉村誠	118	0	118	3	0	3	8	1	0	9	1	2	3		
	7	大井	大井	中原光	島本勝路	161	0	161	6	0	6	11	1	1	13	0	2	2		
	8	大島	大島	小澤正雄	小野一昭	56	0	56	3	0	3	8	1	0	9	1	1	2	へき地1級	
	9	相島	相島	吹上泰一	青木秀典	27	0	27	3	0	3	8	1	0	9	0	0	0	へき地3級	
	10	見島	見島	前田勲	長田忠男	95	0	95	3	0	3	8	1	0	9	1	2	3	へき地3級	
計						2,440	19	2,459	69	4	73	142	10	6	158	6	19	25		
合 計						7,228	54	7,282	205	11	216	323	22	16	361	11	50	61		

部数	配付対象
50部	市内全教員
50部	市内全教員
50部	市内各校
50部	市内各校
50部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
20部	市内各校
50部	市内各校

学年	出生数		異動数		合計	性別
	男	女	男	女		
1	1001	981	1001	981	1982	小
2	981	961	981	961	1942	小
3	961	941	961	941	1902	小
4	941	921	941	921	1862	小
5	921	901	921	901	1822	小
6	901	881	901	881	1782	小
7	881	861	881	861	1742	小
8	861	841	861	841	1702	小
9	841	821	841	821	1662	小
10	821	801	821	801	1622	小
11	801	781	801	781	1582	小
12	781	761	781	761	1542	小
13	761	741	761	741	1502	小
14	741	721	741	721	1462	小
15	721	701	721	701	1422	小
16	701	681	701	681	1382	小
17	681	661	681	661	1342	小
18	661	641	661	641	1302	小
19	641	621	641	621	1262	小
20	621	601	621	601	1222	小
21	601	581	601	581	1182	小
22	581	561	581	561	1142	小
23	561	541	561	541	1102	小
24	541	521	541	521	1062	小
25	521	501	521	501	1022	小
26	501	481	501	481	982	小
27	481	461	481	461	942	小
28	461	441	461	441	902	小
29	441	421	441	421	862	小
30	421	401	421	401	822	小
31	401	381	401	381	782	小
32	381	361	381	361	742	小
33	361	341	361	341	702	小
34	341	321	341	321	662	小
35	321	301	321	301	622	小
36	301	281	301	281	582	小
37	281	261	281	261	542	小
38	261	241	261	241	502	小
39	241	221	241	221	462	小
40	221	201	221	201	422	小
41	201	181	201	181	382	小
42	181	161	181	161	342	小
43	161	141	161	141	302	小
44	141	121	141	121	262	小
45	121	101	121	101	222	小
46	101	81	101	81	182	小
47	81	61	81	61	142	小
48	61	41	61	41	102	小
49	41	21	41	21	62	小
50	21	1	21	1	22	小
51	1	0	1	0	1	小

(2) 児童・生徒の推移

小学校

各年度5月1日現在 59年以降

学校	年度									
	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
明倫	1,819	1,813	1,797	1,795	1,750	1,737	1,724	1,733	1,709	
椿東	967	1,002	1,021	1,068	1,073	1,060	1,049	1,036	1,171	
越ヶ浜	462	471	461	460	472	464	455	461	460	
椿西	189	210	223	250	269	274	250	253	246	
白水	499	488	470	463	448	430	416	412	425	
木間	19	21	17	17	18	18	15	18	21	
三見	224	215	199	190	181	178	179	176	172	
大井	316	320	298	290	288	290	270	290	282	
大島	111	110	99	104	106	106	104	95	118	
相島	47	47	42	40	40	41	41	39	40	
見島	241	235	214	193	178	184	177	178	185	
合計	4,894	4,932	4,841	4,870	4,823	4,782	4,680	4,691	4,829	

中学校

学校	年度									
	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
萩第一	921	938	983	1,037	1,004	981	1,031	1,030	1,037	
明経	220	224	226	235	239	248	262	242	237	
指月	425	439	496	526	522	512	525	513	533	
越ヶ浜	228	227	242	238	229	203	248	250	239	
木間	6	4	7	8	8	7	11	9	7	
三見	94	101	108	117	118	111	111	108	121	
大井	152	142	160	162	161	141	165	172	155	
大島	75	68	68	60	56	51	51	58	63	
相島	24	20	24	32	27	24	19	33	28	
見島	123	109	99	96	95	95	100	98	89	
合計	2,268	2,272	2,413	2,511	2,459	2,373	2,523	2,513	2,509	

6. 学校保健・給食

(1) 学校保健

健康が教育の基盤であり、人間の幸福の必須条件であることは言をまたない。

児童・生徒がたくましい身体と強じんな精神をもつことが要請され、次代を担って立つ社会人としての体力の基礎づくりはきわめて重要な課題である。

従って学校体育、学校保健、学校給食を体系的に拡充し健康の保持増進に努める。

児童・生徒体位比較表

区分	年令 地区 男女	6 才			8 才			10 才		
		全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市
身長 cm	男	115.9	115.4	115.2	127.0	126.7	126.7	137.3	136.3	136.5
	女	115.2	114.1	114.4	126.3	125.7	125.8	138.3	137.7	138.7
体重 kg	男	20.9	20.6	20.3	26.1	25.5	25.6	32.3	31.5	31.2
	女	20.5	20.1	20.0	25.6	25.3	25.3	32.6	32.3	32.9
胸囲 cm	男	57.6	57.4	56.8	62.0	61.3	61.6	66.7	66.0	65.6
	女	56.3	55.7	55.6	60.5	59.8	60.1	66.2	65.9	66.3
座高 cm	男	65.0	64.7	64.8	69.9	69.8	69.8	74.2	73.9	73.9
	女	64.5	64.1	64.5	69.5	69.3	69.3	74.9	74.7	75.4

区分	年令 地区 男女	12 才			14 才		
		全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市
身長 cm	男	149.8	148.9	148.9	163.6	162.5	163.5
	女	150.6	150.0	150.7	156.0	155.3	156.1
体重 kg	男	41.4	40.7	40.8	52.6	51.0	52.2
	女	42.5	42.2	42.8	49.5	48.9	50.0
胸囲 cm	男	72.5	72.4	73.0	79.6	79.0	80.8
	女	74.3	74.3	75.0	79.3	79.1	79.8
座高 cm	男	79.8	79.2	79.0	86.8	86.2	86.8
	女	81.4	81.0	81.6	84.3	84.1	84.3

(2) 学校給食

○ 学校給食の充実

学校給食法の「学校給食の目標」に示す教育的意義に基づいて、児童・生徒にとって楽しく豊かな完全給食の充実を図るよう努める。

○ 学校給食への米飯導入経過

従来パンを中心として実施されてきたが、昭和51年2月学校給食法施行規則が一部改正され米飯が明確に位置づけされた。

米飯導入は、食事内容の多様化を図り、栄養に配慮した米飯の正しい食習慣を身につけさせることが教育上有意義であるので、その普及につとめた。

実施については、昭和53年9月から木間、大島、相島小・中学校において、自校炊飯を実施又、昭和54年9月から他の各小中学校では委託により週1回の米飯給食を実施し、55年9月から週2回の米飯給食を実施した。なお、自校炊飯実施校においては昭和57年9月から週3回の米飯給食を実施している。

○ 学校給食設備の整備充実

施設設備の整備を遂次行ない設備の充実に努める。

(昭和58年度)

区分	学校数	給食人員	年間給食平均回数	給食延人員
小学校	11 校	4,823 人	185 回	892,255 人
中学校	10	2,459	185	454,915

区分	1人当り 給食費月額	完全給食実施率	調理従事員数	備考
小学校	3,200 円	100 %	31 人	
中学校	3,800	100	19	

7. 就学援助

要保護 準要保護児童 生徒数および支給額

援助費目	小学校		中学校		備考
	人数	1人当たり支給額	人数	1人当たり支給額	
学用品費 通学用品費	142人	10,885円	91人	17,939円	
新入学児童生徒 学用品費等	9	15,000	27	17,500	
修学旅行費	33	平均 10,366	34	平均 22,728	要保護加算 小1,400円、中2,600円
校外活動費	127	平均 1,559	37	平均 1,498	
給食費	133	平均 35,989	84	平均 45,075	
医療費	29	平均 2,175	20	平均 2,329	

通学費援助

対象	小学校	中学校
飯井地区から三見小・中学校へ通学するための汽車賃	実費の半額	実費の半額

8. 学校寄宿舎

離島中、檜島の児童生徒の学力向上をはかるため、明倫小、明経中に通学、学習させる施設、併せて離島出身高校生も収容している。

経営方針

- (1) 理解と愛情を根幹として、ひとりひとりの特性を伸ばすとともに、舎生活を通して、自主、責任、融和の精神を養い、併せて健康で豊かな人間性と、たくましい実践力の育成を図る。
- (2) 寄宿舎教育の適性な運営をはかるとともに、相互の信頼と理解を深め、親代りとして、愛ときびしきをもって舎生に接する。

1. 小中高出身別人数

出身性	檜島		見島		相島		大島		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
小学生	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校生	1	0	5	6	2	2	1	9	9	17	26
計	2	0	5	6	2	2	1	9	10	17	27
	2		11		4		10				
世帯数	2		9		4		9		24		

9. その他

○ 昭和57年度中学校卒業者の進路状況

昭和58年5月調

進路別	性別	男	女	計
		卒業者総数	453	387
進学者	高等学校	429	368	797
	高等専門学校	3	0	3
	計	432	368	800
各種学校・職業訓練校		2	6	8
就業者	県内	10	4	14
	県外	6	8	14
	計	16	12	28
その他の他		3	1	4

○ 資料

		昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度
進学率	男	93.0	96.9	95.7	95.7	95.4
	女	94.5	95.0	94.2	94.2	95.1
	計	93.8	96.0	95.0	95.0	95.2
就職率	男	6.5	2.9	3.8	3.8	3.5
	女	5.0	4.5	5.8	5.8	3.1
	計	5.8	3.6	4.7	4.7	3.3
(県内就職率)計		35.4	27.2	48.3	57.1	50.0

V 社会教育

1. 基本方針

本市における社会教育の基本は、県教育委員会が示す社会教育重点施策を基調とし、生涯教育の拡充を図る。特に、市民の学習要求に応える中で、急激に変化する社会情勢に対応できる、情操豊かで心身ともに健全な市民を育成するとともに、教育文化都市づくりに努める。

2. 昭和58年度重点目標

(1) 社会教育指導者の育成と資質の向上

- 社会教育関係職員の資質の向上。
- 各種団体・関連施設及び学級・教室等のリーダーの育成と確保。

(2) 社会教育関係団体の育成援助

- 社会教育関係団体の育成と相互の連携。
- 青少年団体の育成と地域活動の強化。
- 青少年の健全育成と地域活動の強化。

(3) 社会教育における学習活動の充実

- 各種学級・教室・講座等における学習活動の充実。
- 家庭教育・成人教育の充実と学習機会の提供。

(4) 公民館をはじめ関連施設の充実と活用

- 公民館及び関連施設における学習活動の充実。
- 地域コミュニティ活動としての施設の積極的活用。

(5) 文化財保護の啓発と芸術文化の振興

- 文化財の理解と愛護思想の普及。
- 文化財保護事業の積極的推進。
- 芸術文化への意識の高揚。

(6) 社会同和教育の拡充と深化

3. 各種委員会

委員会名	定数	担任する事項
社会教育委員会	10人	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、研究調査を行なうこと。
公民館運営審議会	三見公民館 10人 大井 " 10人 大島 " 10人 見島 " 10人 中央 " 14人	館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議すること。
文化財審議会	10人	萩市の文化財について、教育委員会の諮問に応じ調査審議し、答申すること。
伝統的建造物群保存地区保存審議会	10人	市長及び教育委員会の諮問に応じ、保存地区の保存等に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項について市長及び教育委員会に建議すること。
図書館協議会	10人	図書館の運営に関し、館長の諮問に応じ、審議し答申すること。
同和教育推進委員会	22人	社会同和教育諸計画実施について、調査審議すること。

4. 社会教育関係団体

団体名	代表者氏名
萩市小学校PTA連合会	佐伯政樹
萩市中学校PTA連合会	野村弘典
萩市連合婦人会	末永梅尾
萩市子ども会育成連絡協議会	林博隆
萩ユネスコ協会	佐伯一男
史都萩を愛する会	林良雄
萩の文化を高める会	都志見善親
萩公民館芸能グループ協議会	平田嘉男
萩をよくする会	滝昇
萩市連合青年団	刀祢弘則
萩スカウト協議会	松尾尚之・小田義子
萩おやこ劇場	岡弘

外に50数団体（昭和58年4月1日現在）

5. 学級・教室・講座

○ 本年度学級教室開設計画

学級、教室名	開設数	参加人員	開設場所	備 考
家庭教育学級	6	220	中央公民館(4) 三見公民館(1) 大井公民館(1) 白水小学校(1)	補助事業 家庭教育学級(含乳幼児) (3) 小学 " (1) 中学 " (1) 文部省委嘱事業 (1)
婦人学級	17	862	三見、中央、大井、大島、見島	内補助事業対象6学級
高令者教室	5	250	中央、三見、大井、大島、見島	内補助事業対象2教室
青年学級	4	40	中央	補助事業対象1学級
青年教室	5	175	三見、大井、大島、相島、見島	単市事業
保健栄養学級	1	40	中央	同上
生活学校	1	100	中央	同上

6. 芸術・文化活動

(1) 文化活動

○ 文化月間行事

文化の日を中心に、市民が気軽に参加でき、日頃の成果の発表の場として各公民館で各種の行事を予定している。

○ 国・県行事の共催

青少年劇場の開催

○ 教育・文化奨励賞

文化活動を永年続けてきた人におくられる賞である。

昭和57年度の受賞者団体

- (個人) 古本超然 文化
- (個人) 福島克己 工芸
- (個人) 兼田節子 芸能
- (団体) 「男なら」保存会 伝統芸能
- (団体) 「お船謡」保存会 伝統芸能

○ 三輪休和芸術文化奨学金

芸術文化活動を専攻している学生におくられる給付金。

昭和57年度受給者 3名

(2) 社会教育施設

1 公民館

公民館は、地域住民にとって、地域の社会教育活動のセンターとして、また住民の身近な茶の間として、気軽に学習や集会に利用されている。

とくに、社会教育機関としての公民館は市民のために各種の事業をとりあげ実施している。

中央公民館

領域	事業名	期間	対象	備 考
総合教育	公民館運営審議会	6月、10月、2月	公 運 審	
	美術展	10月	一般成人	
	文化月間行事	11月	市 民	菊花展、盆栽展、おもて展、ばら展、市民ハイキング
青少年教育	青年学級	5月～3月	勤労青少年	4コース開設
	青年のつどい	5月、隔月開催	"	
	青年団体指導者研修会	6月、隔月開催	"	
婦人・家庭教育	婦人学級	5月～3月	婦 人	地域婦人学級12
	婦人歴史講座	"	"	
	料理教室	"	"	西洋料理2、日本料理3、中華料理1
	家庭教育学級	"	保 護 者	小学校、中学校
	乳幼児学級	"	"	
成人教育	婦人学級役員研修会	5月～3月	婦人指導者	
	読書会	4月～3月	一般成人	
	高齢者教室	5月～2月	高 齢 者	陶芸、園芸、書道
	郷土歴史講座	6月～10月	市 民	
	園芸講習会	4月～3月	随 時	ばら、さつき、菊、盆栽づくり
	書道教室	5月～3月	一般成人	昼間、4学級

三見公民館

事業名	期間	対象
公民館運営審議会	5月10月2月	公民館運営審議委員
婦人学級	5月～2月	婦人
高齢者教室	〃	高齢者
家庭教育学級	〃	乳幼児をもつ両親
青年教室	〃	勤労青少年
各種スポーツ教室	〃	婦人・少年
各種スポーツ大会	〃	地区民
公民館まつり	11月	〃
館報発行	5月、隔月	

大井公民館

事業名	期間	対象
公民館運営審議会	5月10月2月	公民館運営審議委員
婦人学級	5月～2月	婦人
高齢者教室	〃	高齢者
家庭教育学級	〃	乳幼児をもつ両親
青年教室	〃	勤労青少年
各種スポーツ教室	〃	少年、婦人、一般成人
各種スポーツ大会	〃	〃
公民館まつり	11月	地区民
館報発行	5月～隔月	

大島公民館

事業名	期間	対象
公民館運営審議会	5月10月2月	公民館運営審議委員
婦人学級	5月～2月	婦人
高齢者教室	〃	高齢者
青年教室	〃	勤労青少年
各種スポーツ教室	〃	婦人、少年
各種スポーツ大会	〃	婦人、青年、少年

見島公民館

事業名	期間	対象
公民館運営審議会	5月10月2月	公民館運営審議委員
婦人学級	5月～2月	婦人
高齢者教室	〃	高齢者
青年教室	〃	勤労青少年
公民館まつり	1月	地区民
各種スポーツ教室	5月～2月	婦人、少年
各種スポーツ大会	〃	婦人、青年、少年

2 図書館

昭和49年3月に閉館した山口県立萩図書館の資料全部の寄贈を受け昭和49年度から新しく市立図書館として発足した。

「市民に親しまれる図書館」「気軽に利用される図書館」「暮しに役立つ図書館」の目標を掲げて運営している。

昭和49年6月新築落成、同年9月26日開館

○施設

- ・一般閲覧室(ブラウジングコーナー、レファレンスコーナーを含む)
- ・子ども閲覧室
- ・第二閲覧室
- ・学生室
- ・集会室(30人用)
- ・視聴覚室(60人用)

○利用

- ・開館時間……午前9時30分から午後5時まで。ただし日曜日は正午まで。
- ・休館日……月曜日、国民の祝日(月曜日と国民の祝日が重なった場合はその翌日)、毎月月末、12月28日から翌年1月4日まで。
- ・館外貸出……萩市民および萩市内に通勤、通学する人に1人4冊、2週間以内(ただし小学生以下は1週間)

○所蔵資料(昭和58年3月31日現在)

一般図書 76,138冊
 児童図書 7,310点(紙芝居を含む)
 テープ 1,182本

○利用状況(昭和57年度、開館日数280日)

	一般・学生			小学生以下			合計	萩市民 100人 当り	1日 当り 貸出数
	男	女	計	男	女	計			
貸出登録者数	1,343人	2,329人	3,672人	568人	790人	1,358人	5,030人	9.3人	—人
貸出冊数	34,001冊	52,512冊	86,513冊	11,813冊	17,580冊	29,393冊	115,906冊	215.3冊	413.9冊
テープ貸出	824本	374本	1,198本	—本	—本	—本	1,198本	—本	4.2本

○貸出文庫 20か所 合計8,200冊

○子どもの会(毎月第1土曜日午後2時30分から1時間程度、その他臨時に開催することもあり)延11回 参加人数 約120人

○勉強会「子どもの本勉強会」1グループ 延11回

○読書会 1グループ 延11回

○布の絵本の会 延12回

3 郷土博物館

昭和34年8月29日、従来の科学博物館に人文部門の資料を加えて、現在地に開館する。

昭和42年9月に5mドーム並びに15cm屈折赤道儀を設置し現在に至る。

昭和58年4月5日萩市郷土博物館分館として民俗資料館を開館する。

主要展示資料

	説	明
歴史展示室	彫刻、萩焼、古地図、古写真、萩藩の藩政、吉田松陰と門下生などの資料展示	
生物展示室	萩付近の昆虫、貝類、植物、貝類標本など展示	
動物展示室	萩付近の鳥獣、珍しい海獣標本など展示	
天文、地学展示室	萩付近の岩石、鉱物、天体写真など展示、小型プラネタリウムを設置	
屋上ドーム	天体観測	
野外展示場	萩付近の自生木本類約200点および岩石園、石造物の展示	
民俗資料館	千両箱、藩札、算盤、榼、看板、煙草盆、ひのし、矢立、箱膳など展示	

主要行事

特別展覧会

年度	名称	期間	入場者数	会場
53	高島北海とその一族展	5.14 ~ 5.28	1,206	市民館展示室
53	田中義一展	9.29 ~ 10.3	1,200	〃
53	長岡外史展	10.7 ~ 10.10	484	〃
53	肖像と遺墨展	10.29 ~ 11.12	1,411	〃
54	大庭学遷絵画展	5.20 ~ 6.3	945	〃
54	周布政之助展	11.10 ~ 11.25	1,440	〃
55	郷土の画家・小田海隣絵画展	6.1 ~ 6.15	602	〃
55	吉田松陰先生と関係人物展	8.4 ~ 8.10	650	〃
55	維新の先覚者・吉田松陰展	8.30 ~ 9.3	727	〃
55	萩の古地図展	10.26 ~ 11.9	1,491	〃
56	杉家寄贈資料披露展	4.26 ~ 5.10	1,980	〃
56	幕末の奇才・小畑焼絵付師吉田道亭展	10.25 ~ 11.8	1,430	〃
57	萩藩主展(肖像と遺墨)	7.1 ~ 7.15	2,306	〃
57	古写真にみる萩	11.13 ~ 11.23	1,083	〃

科学展覧会

回数	年度	期間	入場者数	会場
26	53	10.20 ~ 10.22	1,819	市民館小ホール
27	54	10.14 ~ 10.17	1,716	〃
28	55	10.15 ~ 10.16	1,895	〃
29	56	10.17 ~ 10.19	1,850	〃
30	57	9.22 ~ 9.24	1,874	〃

歴史講座

6月から10月迄の第2・4水曜日、夜7時から2時間程度、主に郷土史の学習を行なう。

年度	回数	申込者数
49	年 10 回	156人
50	年 10 回	95人
51	年 10 回	89人
52	年 10 回	76人
53	年 10 回	80人
54	年 10 回	80人
55	年 10 回	89人
56	年 10 回	74人
57	年 10 回	55人

星の会・星友の会

(星の会)毎週木曜日 午後7時半から2時間程度 (星友の会)毎週土曜日 午後8時より3時間程度(中学生以上)

年度	観測回数 (年間、晴天時)	参加人員	講義回数 (年間、晴天以外)	参加人員	巡回講座	参加人員
53	49	1,076	48	643		
54	47	1,000	46	650		
55	46	470	87	817		
56	90	956	50	980		
57	42	991	76	905	8	536

主要所蔵資料

歴史資料……木戸孝允関係資料、古銭・藩札・陶器・出土陶片資料・維新資料など

郷土美術資料……雲谷派絵画および能筆家の書など

民俗資料……萩城下および萩付近の武家・町家・農業・漁業関係の資料

考古資料……大井地区・見島ジーンボ古墳出土品など

博物資料……田中市郎氏寄贈剝製標本、山口県北部地方植物おしぼ標本・貝類標本など

理工資料……科学資料・天体写真資料・一般理工資料など

開館日数及び入館者数

年度	開館日数	入館者数	一日平均入館者数
53	287	24,931	87
54	293	16,169	55
55	268	15,387	57
56	294	17,361	59
57	297	14,468	49

4 松陰遺墨展示館

松陰先生殉難百年祭(昭和34年)を記念して建設され、同年8月27日に開館した。

利 用

- 開館時間 8時30分～17時
- 入館料

	個 人	団体(30名以上)
大 人	100 円	60 円
高校生・中学生	50 円	30 円

- 休館日 12月28日～1月3日

- 収蔵品の展示資料 121点

- 昭和57年度入館者数 29,036人

(3) 文化施設

市 民 館

市民の生活文化の向上と福祉の増進をはかるため、明治維新百年を記念して建設され、昭和43年10月に開館した。

以来各種団体、機関をはじめ、市内一般住民はもちろん北浦における文化センターとして、広域にわたって公衆の利用に供され、その役割を果たしてきた。

今では、音楽、舞踊、演劇等の舞台芸術をはじめ、各種の大会、会議等の諸行事には必要欠くべからざる施設としますます利用度は高くなっている。

市民館利用状況 (昭和57年度)

	大ホール	小ホール	第1会議室	第2会議室	第3会議室
使用日数	241	291	304	30	299
使用件数	242	110	147	11	269

	講義室	実習室	第1和室	第2和室	第3和室
使用日数	344	156	3	317	90
使用件数	583	155	3	408	84

	第4和室	結婚式場
使用日数	97	41
使用件数	92	30

(4) 文化財保護

毛利氏36万石の城下町の形態や当時の古い建造物、明治維新前後の史跡など、萩市は数多くの文化財を保存している。

歴史的、学術的または芸術的な価値のあるこれらのすぐれた文化財は、萩市の宝であり市民の誇りでもある。祖先が残した文化財を大切に保護保存し、後世に継承してゆくことは、われわれ市民の責務である。

文化財の保護活用は萩市発展のためにも重要なことであり、国、県、市の指定文化財については補助事業により、文化財の保存、修理、修景につとめ、また萩市文化財保護条例、萩市伝統的建造物群保存地区保存条例並びに萩市歴史的景観保存条例を制定し、歴史的景観の保存整備につとめている。

昭和53～57年度文化財保護主要事業 (単位 千円)

年度	事 業 名	事業費	財 源 内 訳			
			国 費	県 費	市 費	その他
53	見島ウシ産地保護増殖事業	9,290	4,645	2,322	2,323	0
	史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)	61,900	49,520	6,190	6,190	0
	史跡萩城々下町土地買上事業	80,566	64,452	8,056	8,058	0
	史跡反射炉保存修理事業	12,200	6,100	3,050	3,050	0
	重要伝統的建造物群保存地区修理事業	15,000	7,500	2,492	5,008	0
	重要文化財口羽家住宅保存修理事業	33,000	31,350	825	412	413
	重要文化財熊谷家住宅保存修理事業	60,000	54,000	3,000	1,500	1,500
	重要文化財菊屋家住宅保存修理事業	11,000	9,350	825	412	413
	大照院庫裡保存修理事業	5,216	0	2,608	1,304	1,304
	大照院庫裡防災施設事業	4,500	0	2,250	1,125	1,125
	龍蔵寺観音堂保存修理事業	6,220	0	0	5,287	933
	花の江茶亭補修工事	700	0	0	700	0
	花の江茶亭防災施設事業	620	0	0	620	0
	野田家防災施設事業	580	0	0	580	0
	玉木文之進旧宅防災施設事業	540	0	0	540	0
	史跡萩城城下町入口広場整備事業	865	0	0	865	0
	史跡木戸孝允旧宅整備事業	160	0	0	160	0
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	208	0	0	208	0
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業補助金	1,437	0	0	550	887
	史跡指定地域保存事業補助金	320	0	0	240	80
明倫館遺構聖廟保存修理事業補助金	345	0	0	172	173	
円政寺内金毘羅社殿防災施設事業補助金	730	0	0	547	183	
福原家書院防災施設事業補助金	420	0	0	315	105	
小川家長屋門防災施設事業補助金	711	0	0	533	178	
54	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(旧二宮家長屋門)	20,000	10,000	3,333	6,667	0
	重要文化財菊屋家住宅保存修理事業	60,000	51,000	4,500	2,250	2,250
	重要文化財熊谷家住宅保存修理事業	60,000	54,000	3,000	1,500	1,500
	天然記念物見島ウシ産地保護増殖事業	7,410	3,705	1,852	1,853	0

年度	事業名	事業費	財源内訳			
			国庫	県費	市費	その他
54	天然記念物明神池保存修理事業	3,600	1,800	900	900	0
	史跡萩反射炉保存修理事業	10,300	5,150	2,575	2,575	0
	史跡萩反射炉土地買上事業	30,320	24,256	3,032	3,032	0
	史跡萩城跡土地買上事業(二の丸)	23,400	18,720	2,340	2,340	0
	重要文化財口羽家住宅防災施設事業	2,055	1,644	205	128	78
	重要文化財旧厚狭毛利家萩屋敷長屋修理事業	940	0	0	940	0
	海潮寺聖廟防災施設事業補助金	606	0	0	454	152
	龍蔵寺観音堂防災施設事業補助金	548	0	0	411	137
	村田清風別荘跡防災施設事業(自火報)	700	0	0	700	0
	花江茶亭防災施設事業(貯水槽40t)	2,774	0	0	2,774	0
	玉木文之進旧宅防災施設事業(貯水槽24t、ポンプ放水銃)	7,700	0	0	7,700	0
	重要伝建地区内街灯取替工事(堀内、平安古地区)	730	0	0	730	0
	旧二宮家長屋門整備工事(造成、生垣、竹垣)	1,693	0	0	1,693	0
	青木周弼旧宅保存修理工事	6,110	0	0	6,110	0
55	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業補助金	3,494	0	0	1,918	1,576
	史跡萩反射炉保存修理事業	16,000	8,000	4,000	4,000	0
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	21,904	10,952	3,650	7,302	0
	天然記念物見島ウシ産地保護増殖事業	7,750	3,875	1,937	1,938	0
	史跡萩城跡土地買上事業	40,000	32,000	4,000	4,000	0
	重要文化財菊屋家住宅保存修理事業	48,300	41,055	3,052	1,811	1,812
	〃 熊谷家住宅防災施設事業	14,000	9,100	2,100	1,225	1,225
	史跡萩城城下町環境整備事業(菊屋家旧宅)	20,000	14,000	3,000	1,500	1,500
	県指定文化財花月楼防災施設事業	450	0	225	112	113
	青木周弼旧宅防災施設工事	1,100	0	0	1,100	0
	伝建地区説明板工事	104	0	0	104	0
	反射炉フェンス工事	163	0	0	163	0
	史跡指定地域保存事業補助金	1,299	0	0	836	463
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業補助金	1,630	0	0	980	650
56	萩市歴史的景観保存地区補助金	6,268	0	0	3,091	3,177
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	20,000	10,000	3,333	6,667	0
	史跡萩反射炉保存修理事業	15,000	7,500	3,750	3,750	0
	天然記念物見島ウシ産地保護増殖事業	5,520	2,656	1,328	1,536	0
	史跡萩藩主毛利家墓所保存修理事業	1,754	1,227	263	264	0
	史跡萩城跡土地買上事業	41,250	33,000	4,125	4,125	0
	重要文化財菊屋家住宅防災施設事業	10,000	7,000	1,500	750	750
	〃 熊谷家住宅防災施設事業	6,000	3,900	1,050	525	525
	史跡萩城城下町環境整備事業(菊屋家旧宅)	47,800	33,460	7,170	3,585	3,585
	奥平家長屋門保存修理事業	6,600	0	0	4,620	1,980
	観徳門移設復原工事	2,800	0	0	2,800	0
	坪井九右衛門旧宅防災施設事業	800	0	0	560	240
	旧益田家物見矢倉防災施設事業	560	0	0	392	168
	史跡伊藤博文旧宅庭整備工事	750	0	0	750	0

年度	事業名	事業費	財源内訳			
			国費	県費	市費	その他
56	指月山登山口説明板設置工事	510	0	0	510	0
	指定文化財・伝建地区説明板設置工事	184	0	0	184	0
	明神池導水路清掃工事	480	0	0	480	0
	史跡指定地域保存事業補助金	1,975	0	0	987	988
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業補助金	8,737	0	0	3,743	4,994
57	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	25,000	12,500	4,163	8,337	0
	〃 萩市堀内地区防災施設事業	11,200	5,600	1,866	3,734	0
	重要文化財旧厚狭毛利家萩屋敷長屋防災施設事業	13,517	6,758	3,379	3,380	0
	史跡萩城跡土地買上事業	50,000	40,000	5,000	5,000	0
	史跡萩反射炉保存修理事業	20,000	10,000	5,000	5,000	0
	天然記念物見島ウシ産地保護増殖事業	5,940	2,970	1,485	1,485	0
	歴史の道「萩往還」整備事業	6,000	3,000	1,500	1,500	0
	史跡萩城城下町環境整備事業(菊屋家旧宅)	59,807	41,864	8,971	4,485	4,487
	重要文化財菊屋家住宅防災施設事業	10,980	7,686	1,647	823	824
	天然記念物明神池池水浄化対策事業	1,160	0	0	1,160	0
	萩城跡東園池浚渫工事	620	0	0	620	0
	奥平家長屋門防災施設事業補助金	650	0	0	455	195
	明倫館遺構聖廟屋根修理事業補助金	714	0	0	357	357
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業補助金	3,282	0	0	1,929	1,353

7. 社会同和教育計画

(1) 重点目標

同和問題は、人類普遍の原理である人間の自由と平等に関する問題であり、日本国憲法に保障された基本的人権にかかわる問題である。

このことを正しく認識し、差別を許さない心情を育て、実践力を身につけるため、自らの課題として問題解決に積極的にとりくむ市民の育成を図る。

－ 協力事項 －

① 社会同和推進態勢の確立

学校教育、家庭教育および社会教育における教育活動の連携を密にして、地域の実態に即した一体的とりくみの推進を図る。

② 同和教育指導者の養成と確保

地域、各関係団体及び職場での自主的研修活動の拡充と深化の推進力となる指導者の充実。

③ 市民に対する同和教育の浸透

同和問題に対する意識の深化と家庭教育における同和教育の充実。

地域、職場での同和教育研修活動の充実。

④ 地区住民の自主的、組織的社会教育活動の充実

同和問題解決のための学習活動への積極的なとりくみと交流活動の充実。

社会同和教育推進事業計画

区分	事業名、学級講座名	対象	時期	事業内容	備考
社会同和教育推進態勢の確立	・社会同和教育推進委員会 ・萩市同和教育推進委員研修	市民代表	5. 11. 2月 年 2 回	社会同和教育の推進について 同和教育に関する研修と交流	委員22名
	・青年学級・教室 ・婦人学級 ・家庭教育学級 ・高齢者学級・教室 ・成人教育活動	参加者	年 間	各学習、講座の中に取り入れて態勢の確立を図る。	年間計画の中で
社会同和教育と指導者の養成と確保	・社会教育関係団体研修会	婦人青年役員	年 2 回	社会教育関係団体での指導者養成	
	・社会同和教育指導者養成講座		年 6 回講座	各団体、地域での指導者養成	
	・企業同和推進担当者養成講座	企業	年 3 回講座	各企業内の指導者養成	
	・社会教育関係職員研修会 ・同和教育指導者協議会	社会教育職員指導者	年 3 回 年 3 回	社会同和教育の認識を深める 各同和教育研修会等の指導	
市民教育に対する浸透	・各団体同和研修	関係者	5月-2月	関係団体の同和研修	
	・各企業体の同和教育研修	関係者	5月-2月	同和教育研修の指導、援助	
	・保護者同和教育研修	保護者	年 2 回	学校同和教育の理解と家庭同和教育	
	・同和教育地域研修	市民	5月-2月	各地域における研修活動の推進	
同和地区民の自主的学習活動	・白水家庭教育学級	保護者	月 1 回	同和地区と周辺地区での保護者による家庭教育学級	
	・集会所指導事業	成人	5月-2月	地区婦人、青年、成人の文化活動	
	・同和地区推進委員会	各代表	年 3 回	同和教育事業の推進について	
	・社会教育関係団体の育成	青年団体 子ども会 婦人団体	5月-2月	各社会教育関係団体の育成	
	・学力促進学級開設	児童・生徒	年150時間	小学生(4年生以上)、中学生の学習指導	
	・地区懇談会の開催 ・文化振興・集会所活動	関係者 関係者	6 月 5月-2月	同和問題についての懇談会 スポーツ活動、諸活動の実施について	

8. 社会体育

生々発展する萩市の将来は、健康で活力ある萩市民の育成にかかっている。そのため、家庭、学校、地域社会が一体となって各種の体育・スポーツ活動を楽しむことによって健康や体力の増進をはかり、もって心身ともに明るく豊かな健康生活と生涯体育を推進する。

(1) 市民スポーツ総参加の推進

だれでも気軽に参加できる生活スポーツを推進するとともに、市民大会への積極的な参加を求める。

① 地区スポーツ団体の育成

スポーツ教室の開設 一般 スポーツクラブ
少年 スポーツ少年団

② 地区体育行事の充実

球技大会、運動会、インディアカ大会、野外活動

③ 市主催行事への積極的参加

④ 公共体育・スポーツ施設設備の整備活用

学校体育施設開放事業の推進
夜間照明施設の効率的利用

⑤ 指導者の資質の向上および組織の充実

体育指導委員研修会
県民スポーツ総参加運動推進委員研修会
スポーツ少年団指導者研修会

(2) 競技力の向上

萩市体協加盟 20 種目団体の種目別活動の強化をはかる。

① 研修会への参加

② 計画的な練習

③ 組織の強化

(3) 広報活動の充実

① 市報「はぎ」の活用

Ⅶ 資 料

1. 学校教育施設

(1) 市立学校一覧

小 学 校

区 分	教 室 数			校 地 面 積	校 舎 面 積			屋 体 面 積	プー ル 設 置	学 校 給 食 の 型
	普 通	特 別	そ の 他 室		木 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	計			
明 倫	52	6	3	32,183	8,695		8,695	1,328	○	完 全
椿 東	26	7	1	23,642	137	4,851	4,988	809	○	"
越ヶ浜	14	6	5	15,913		2,773	2,773	726	○	"
椿 西	8	5	3	11,513	135	1,830	1,965	540	○	"
白 水	13	4	3	11,699	61	2,190	2,251	540	○	"
木 間	4	2	1	2,926	729		729	○ 174		"
三 見	9	4	3	7,539	87	1,463	1,550	451	○	"
大 井	12	6	9	7,611		2,984	2,984	506		"
大 島	8	3	2	6,756	111	1,428	1,539	○ 399		"
相 島	3	0	0	2,843	354		354	0		"
見 島	10	5	2	11,889	189	1,643	1,832	422		"

中 学 校

区 分	教 室 数			校 地 面 積	校 舎 面 積			屋 体 面 積	プー ル 設 置	学 校 給 食 の 型
	普 通	特 別	そ の 他 室		木 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	計			
一 中	26	12	3	28,259	3,056	2,326	5,382	968		完 全
明 経	11	8	4	13,457	2,964	334	3,298	714		"
指 月	16	4	3	15,879	2,670		2,670	466		"
越ヶ浜	7	5	2	4,962	1,475	162	1,637	395		"
木 間	3	0	1	1,689	298		298			"
三 見	6	5	2	7,436	1,945		1,945	394		"
大 井	6	7	1	22,114	1,666	192	1,858	501		"
大 島	4	5	2	6,637	1,287	135	1,422	○ 84		"
相 島	4	3	1	2,813	604		604			"
見 島	6	7	1	11,323	75	1,690	1,765	○ 366		"

屋体面積の○印は木造建

(2) 県立学校

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	校 長 名	職 員 数	学 級 数	生 徒 数	備 考
萩 高 等 学 校	堀内 132	② 0076	S 25. 4. 1	増野克己	63	23	987	
萩工業 高等学 校	平安古町 544	② 0034	S 40. 4. 1	上村 豊	55	15	526	
萩商業 高等学 校	江向 475	② 0232	S 40. 4. 1	山本八造	40	12	486	
宇部養護学校萩分校	土原 537-2	⑤ 7280	S 54. 4. 1	津田茂樹	15	8	22	

(3) 私立学校

大 学

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	学 長 名	職 員 数	学 生 数	備 考
萩女子短期大学	椿東 4515	② 3331	S 42. 1. 23	萩原春樹	48	184	

萩光塩学院

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	校 長 名	職 員 数	学 級 数	生 徒 数	備 考
萩光塩学院高等部	東田町 15	② 0782	S 26. 1. 19	池田典子	36	13	455	
萩光塩学院中等部	"	"	"	"	5	3	56	
萩光塩学院初等部	"	"	S 30. 3.	"	13	6	172	

幼 稚 園

園 名	学 級 数	園 児 数				教 員 数	園 長 名	所 在 地	電 話
		3 才	4 才	5 才	計				
萩 幼 稚 園	7	35	83	93	211	7	林 精	西田町 17	② 0775
萩光塩 幼稚園	8	72	113	117	302	8	池田典子	東田町 15	② 0782

社会福祉法人 ふたば園 (通園施設)

部 別	学 級 数	児童数なら びに成人数	教員ならび に職員数	園 長 名	所 在 地	電 話
児 童 部	4	23	11	森重耐子	河添225番地5	② 5092
成 人 部		39	10	岡 寿	河添222番地1	② 9717

(4) 学校寄宿舎 (明和寮)

名 称	所 在 地	電 話	敷地面積	建物面積	構 造	定 員	開設年月日
明 和 寮	浜崎町 21	⑤ 1099	1,420 m ²	861 m ²	鉄筋コンク リート 2階	50人	S 40.4.1

(5) 教 員 住 宅

区 分	棟 数	戸 数	建 物 面 積
見島小・中学校	11	17	693 m ²
相島小・中学校	6	8	322
大島小・中学校	9	11	539
木間小・中学校	3	5	241
明倫小学校	1	1	123
指月中学校	1	1	146

2. 社会教育施設

1) 公 民 館

館 名	所 在 地	対 象 人 口	取 得 年 月	独立・併置 の 別	構 造	延 面 積
中央公民館	萩市江向3区	52,293	S 43.10	㊦ 市民館	鉄・平	453 m ²
大井公民館	萩市大井庄屋	3,492	S 52.4	㊦ 出張所	鉄・二	670
三見公民館	萩市三見石丸	2,500	S 30.3	㊦ 出張所	木・二	292
見島公民館	萩市見島本村	1,856	S 55.5	㊦ 総合 センター	鉄・二	919
大島公民館	萩市大島東	1,326	S 54.3	㊦ 出張所	鉄・二	599

館 名	所 在 地	電 話	敷 地 積	建 物 積	構 造	所 蔵 料	開館年月日	備 考
萩市郷土 博物館	江向 525	⑤ 3131	1,239 m ²	780 m ²	木造モ ルタル	30,000	S 34.8.30	
(博物館分館) 民俗資料館	江向 530-1	⑤ 6447	2,039.66	323.21	鉄筋コン クリート 2階建	431	S 58.4.5	

(3) 松陰遺墨展示館

館 名	所 在 地	電 話	建 物 面 積	構 造	展 示 資 料	開館年月日
松陰遺墨展示館	椿東 1538 (松陰 神社内)	⑤ 2410	130 m ²	鉄筋コンク リート平屋建	吉田松陰遺墨伝 説資料等	S 34.8.27

(4) 図 書 館

館 名	所 在 地	電 話	敷地面積	建物面積	構 造	施 設 内 容	開館年月日
萩市立図書館	江向 552	⑤ 3131	5,250 m ²	1,320 m ²	鉄骨2階建	・一般閲覧室 ・子ども室 ・第2閲覧室 ・学生室 ・視聴覚室 ・集会室	S 49.9.26

(5) 総合センター

館名	所在地	電話	敷地面積	建物面積	構造	施設内容	開館年月日
萩市見島総合センター	見島951の1	0838433005	1.915 m^2	919 m^2	鉄骨構造 2階建	・集会室 ・娯楽室 ・生活改善研修室 ・会議室 ・講座室 ・図書室	S 55.5.2

3. 社会体育施設

施設名	所在地	利用件数	運営	建設年月日	施設概要
市民球場	江向553	392	教体育課	昭 31.10	・敷地面積 14,619 m^2 ・グラウンド面積 9,587 m^2 ・収容人員 13,000人
球技場	江向552	635	〃	昭 33.4	・敷地面積 4,939 m^2 ・テニスコート4面 ・ゲートボールコート2面
武道館	江向552	814	〃	昭 50.1 (弓道場 昭 52.1)	・敷地面積 972 m^2 ・建物面積 760.03 m^2 ・柔道場 306.43 m^2 (畳96枚) ・剣道場 306.43 m^2 ・弓道場 147.17 m^2 ・控室 ・ロッカー室 ・シャワー室
市民体育館	椿3395の1	専用使用 1,890 一般使用 59,976	〃	昭 54.3	・敷地面積 11,823.41 m^2 ・建物面積 4,738 m^2 1階 3,787 m^2 2階 849 m^2 3階 102 m^2 ・主競技場 1,530 m^2 バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バトミントン 10面 卓球 15面 テニス 2面 ハンドボール 1面 ・トレーニング室 ・第1、第2副競技場 ・管理室 ・研修室 ・健康相談室 ・医務室

施設名	所在地	利用件数	運営	建設年月日	施設概要
堀内体育館	堀内127の6	専用使用 62件 一般使用 1,880人	教体育課	昭 54.4	敷地面積 1,927.02 m^2 建物面積 578.04 m^2 ・競技場 453.6 m^2 ・談話室 42.84 m^2 ・玄関ホール 19.4 m^2 ・管理室 11.4 m^2 ・更衣室 17 m^2 ・倉庫 15 m^2
夜間照明	江向552	226	〃	昭 54.10	敷地面積 3,154 m^2
	椿東2710の1	323	〃	昭 54.4	グラウンド面積 8,075 m^2
	江向602	241	〃	昭 52.7	グラウンド面積 13,960 m^2
	土原556の1	83	〃	昭 57.8	グラウンド面積 6,199 m^2

4. 文化施設

市民館

館名	所在地	電話	敷地面積	建物面積	駐車場	構造	開館年月日	施設内容
市民館	江向495の4	⑤ 1234	16,253 m^2	3,845 m^2	1,150 m^2	鉄筋コンクリート一部鉄骨造り平屋建	43.10.5	(下記)

室名	収容人員	面積	室名	収容人員	面積	室名	収容人員	面積
大ホール (内車椅子専用席)	1,300 (5)	1,358 m^2	レストラン	70	136 m^2	第4和室		8 m^2
小ホール	120~ 240	214 m^2	講義室	50	87 m^2	事務室応接室		58 m^2
ロビー		879 m^2	実習室	36	63 m^2	管理人室		4.5 m^2 8 m^2
第1会議室	45	75 m^2	結婚式場	30	98 m^2	教材倉庫		29 m^2
第2会議室	45	75 m^2	第1和室		6 m^2	機械室		373 m^2
第3会議室	30	75 m^2	第2和室		10 m^2	シャワー室		10 m^2
展示室		156 m^2	第3和室		6 m^2	便所		116 m^2

5. 指定文化財一覧

国 指 定					
重要文化財(14)					
種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	所 有 者
建 造 物	常念寺表門 付、棟札一枚	1 棟	昭29.9.17	下五間町	常 念 寺
建 造 物	東光寺総門 東光寺三門 付、棟札一枚 東光寺大雄宝殿 付、棟札三枚 東光寺鐘楼	4 棟	昭41.6.11	椎 原	東 光 寺
建 造 物	旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 付、棟札一枚	1 棟	昭41.6.11	堀 内	萩 市
建 造 物	菊屋家住宅 主屋、本蔵、金蔵、米蔵、釜 場付、土塀二棟、古図一枚	5 棟	昭49.5.21	呉 服 町	財団法人 菊屋家住宅 保存会
建 造 物	熊谷家住宅 主屋、離れ座敷、本蔵、宝蔵	4 棟	昭49.5.21	今魚店町	財団法人 熊谷美術館
建 造 物	口羽家住宅 主屋、表門	2 棟	昭49.5.21	堀 内	口羽 良通
絵 画	絹本着色春冬山水図 載文進筆	2 幅	昭31.6.28	呉 服 町	財団法人 菊屋家住宅 保存会
彫 刻	木造 聖観音立像	1 軀	昭25.8.9	沖 原	南 明 寺
彫 刻	木造 千手観音立像	1 軀	昭25.8.9	沖 原	南 明 寺
彫 刻	木造 赤童子立像	1 軀	昭25.8.9	青 海	大 照 院
工 芸 品	太刀 銘延吉 付、絲巻太刀拵	1 口	昭25.8.9	堀 内	志都岐山神社
工 芸 品	太刀 銘光房 付、革包太刀拵	1 口	昭25.8.9	堀 内	志都岐山神社
書 跡	熊谷家文書	13 卷 (225通)	昭48.6.6	土 原	熊 谷 正 雄
書 跡	雪峯東山空和尚外集	1 冊	昭49.6.8	中津江	龍 蔵 寺

重要無形文化財(1)

種 別	名 称	認定年月日	保護者の住所	保護者の氏名
工 芸 技 術	萩 焼	昭58.4.13	無 田 ヶ 原	三 輪 休 雪

史跡・名勝・天然記念物(16)

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 団 体 または所有者
史 跡	松 下 村 塾	大11.10.12	椎 原	松 陰 神 社
史 跡	吉田松陰幽囚ノ旧宅	大11.10.12	椎 原	松 陰 神 社
史 跡	萩 反 射 炉	大13.12.9	前 小 畑	萩 市
史 跡	明倫館水練池および有備館付 明倫館碑	昭4.12.17 地域追加 昭24.7.13	江 向	萩 市
史 跡	木 戸 孝 允 旧 宅	昭7.3.25	呉 服 町	萩 市
史 跡	伊 藤 博 文 旧 宅	昭7.3.25	椎 原	萩 市
史 跡	旧 萩 藩 御 船 倉	昭11.12.16 地域一部解除 昭37.11.10	東 浜 崎 町	萩 市
史 跡	萩 城 跡	昭26.6.9 地域追加 昭42.1.10 地域追加 昭52.4.27	堀 内 堀内・北片河町 平 安 古 町	萩 市
史 跡	萩 城 城 下 町	昭42.1.10 地域追加 昭54.3.20	呉 服 町 南 古 萩 町	萩 市
天 然 記 念 物	明 神 池	大13.12.9	越 ヶ 浜	萩 市
天 然 記 念 物	笠山コウライタチバナ自生地	大15.2.24	越 ヶ 浜	萩 市
天 然 記 念 物	見 島 ウ シ 産 地	昭3.9.20	見 島	萩 市
天 然 記 念 物	見 島 の カ メ 生 息 地	昭3.9.20	見 島	萩 市
天 然 記 念 物	木 部 の 大 セ ン ダ ン	昭13.12.14	沖 原	萩 市
天 然 記 念 物	指 月 山	昭46.3.16	堀 内	萩 市
史 跡	萩 藩 主 毛 利 家 墓 所	昭56.5.11	堀内・青海・椎原	萩 市

国 選 定

重要伝統的建造物群保存地区(2)

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	面 積
伝 統 的 建 造 物 群 保 存 地 区	萩市堀内地区伝統的建造物群保存地区	昭51.9.4 昭53.5.31	堀 内	約70.3ヘクタール 約7.1ヘクタール
伝 統 的 建 造 物 群 保 存 地 区	萩市平安古地区伝統的建造物群保存地区	昭51.9.4	平 安 古	約3.9ヘクタール

県指定

有形文化財(15)

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	萩学校教員室	1棟	昭44.12.5	堀内	萩高等学校
建造物	長寿寺十三重塔	1基	昭48.10.19	北古萩	長寿寺
建造物	旧福原家萩屋敷門	1棟	昭49.11.8	堀内	萩市
建造物	大照院庫裡	1棟	昭50.3.22	青海	大照院
建造物	旧梨羽家書院	1棟	昭52.11.11	堀内	松浦政実
建造物	花月楼	1棟	昭54.12.4	椎原	松陰神社
絵画	絹本着色釈迦三尊像	3幅対	昭53.12.22	椎原	東光寺
彫刻	木造釈迦如来座像	1軀	昭41.6.10	青海	大照院
彫刻	木造不動明玉立像	1軀	昭41.6.10	北古萩町	長寿寺
彫刻	木造義翁和尚倚像	1軀	昭53.12.22	青海	大照院
書跡	東光寺 木額 柱聯 榜牌 同下書	40枚 29対と1枚 3幅 19幅	昭48.3.30	椎原	東光寺
書跡	東光寺 三祖師号	3幅	昭48.3.30	椎原	東光寺
書跡	石屏子介禪師墨蹟	1幅	昭50.3.22	中津江	龍蔵寺
考古資料	見島 シーコンボ古墳群出土品	1括	昭54.3.31	江向	萩市
歴史資料	毛利氏日明貿易関係資料	1巻 2冊	昭57.11.5	土原	高州孝次

無形民俗文化財(1)

種別	名称	指定年月日	保持者の住所	保持者の氏名
芸能	住吉神社「お船謡」	昭43.4.5	浜崎町	住吉神社お船謡保存会

史跡・名勝・天然記念物(6)

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者
史跡	萩一里塚	昭52.3.29	笠屋	楊井健弘
史跡	見島シーコンボ古墳群	昭52.11.11	見島	萩市
天然記念物	河内の大ムク	昭41.6.10	河内	田村甲作
天然記念物	三見吉広のバクチノキ	昭55.12.5	三見	吉広部落
天然記念物	志都岐神社のミドリヨシノ	昭56.3.24	堀内	志都岐山神社
史跡	萩焼古窯跡群	昭56.12.11	中ノ倉	坂幸子

市指定

有形文化財(27)

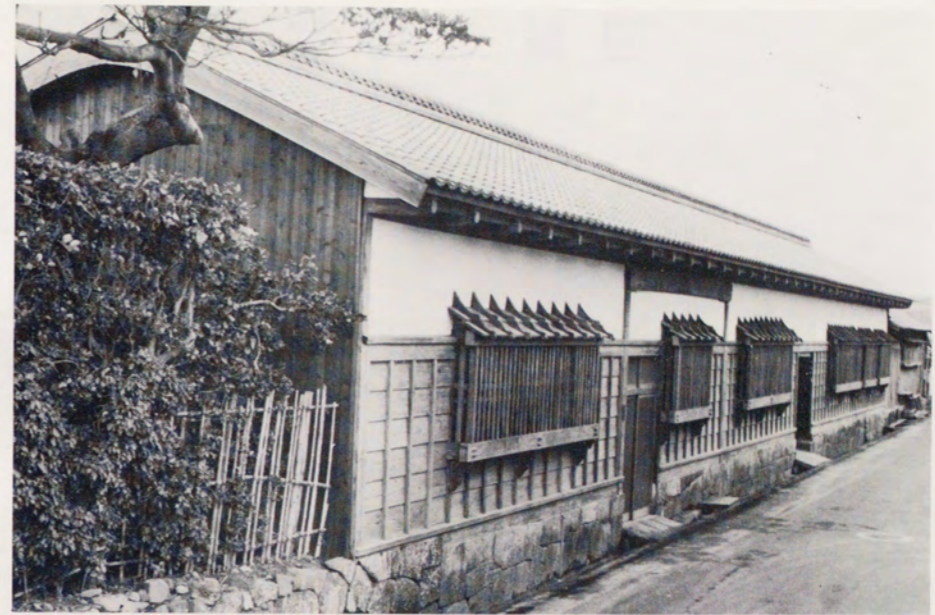
種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	旧周布家長屋門	1棟	昭37.1.11	堀内	萩市
建造物	平安橋	1基	昭37.1.11	平安古町	萩市
建造物	間田益田氏旧宅土塀	1棟	昭37.12.24	堀内	山田正次
建造物	大照院鐘楼門	1棟	昭42.12.25	青海	大照院
建造物	大照院経蔵	1棟	昭42.12.25	青海	大照院
建造物	旧福原家書院	1棟	昭42.12.25	堀内	志都岐山神社
建造物	小川家長屋門	1棟	昭46.3.26	土原	小川佳三
建造物	龍蔵寺観音堂	1棟	昭46.3.26	中津江	龍蔵寺
建造物	明倫館遺構南門	1棟	昭48.2.13	西田町	本願寺萩別院
建造物	明倫館遺構観徳門	1棟	昭48.2.13	江向	萩市
建造物	明倫館遺構聖廟	1棟	昭48.2.13	北古萩町	海潮寺
建造物	明倫館遺構万歳橋	1基	昭48.2.13	堀内	志都岐山神社
建造物	花江茶亭	1棟	昭48.2.13	堀内	萩市
建造物	端坊鐘楼	1棟	昭49.3.23	恵美須町	端坊
建造物	円政寺内金毘羅社社殿 附 石鳥居・山門・石灯笼	1棟	昭51.6.10	南古萩	円政寺
建造物	亨徳寺三門	1棟	昭52.10.11	北古萩町	亨徳寺
建造物	奥平家長屋門	1棟	昭54.2.23	土原	奥平忠
建造物	南明寺観音堂	1棟	昭55.9.19	冲原	南明寺
建造物	大照院本堂	1棟	昭56.3.20	青海	大照院
建造物	大照院書院	1棟	昭56.3.20	青海	大照院
建造物	明倫館遺構聖賢堂	1棟	昭58.3.22	江向	萩市
彫刻	木造薬師如来座像	1軀	昭46.3.26	松本市	広厳寺
工芸品	讚岐坊梵鐘	1口	昭48.2.13	見島	讚岐坊
工芸品	見島八幡宮罌口	1口	昭48.2.13	見島	見島神社
工芸品	端坊梵鐘	1口	昭49.3.23	恵美須町	端坊
工芸品	不動明王立像	1軀	昭51.6.10	冲原	南明寺
考古資料	元寇の礎石	1基	昭55.4.25	大井	出口栄城

無形民俗文化財(4)

種別	名称	指定年月日	保持者の住所	保持者の氏名
芸能	玉江浦「天狗拍子」	昭37.12.24	玉江浦	天狗拍子保存会
芸能	木間「神代の舞」	昭37.12.24	木間	神代舞保存会
芸能	越ヶ浜「巫女の舞」	昭46.3.26	越ヶ浜	越ヶ浜郷土芸能保存会
芸能	越ヶ浜「大綱声」	昭46.3.26	越ヶ浜	越ヶ浜郷土芸能保存会

史跡・名勝・天然記念物(11)

種別	名称	指定年月日	所在地	管理団体 または所有者
史跡	萩城下街割原標石	昭37. 1. 11	江向	萩市
史跡	村田清風別宅跡	昭37. 12. 24	平安古町	萩市
史跡	玉木文之進旧宅	昭39. 3. 28	椎原	萩市
史跡	大井円光寺穴観音古墳	昭46. 3. 26	大井	田中一久
史跡	八橋検校の碑	昭46. 3. 26	香川津	赤崎神社
史跡	吉田松陰の墓ならびに墓所	昭47. 2. 9	椎原	杉丙三
史跡	小倉四賢墓所	昭47. 2. 9	大屋	萩市
史跡	菊ヶ浜土塁(女台場)	昭48. 2. 13	今魚店町	萩市
史跡	野山獄、岩倉獄跡	昭48. 7. 31	今古萩町	萩市・吉田惣一郎外七名
天然記念物	大照院の大フジ	昭37. 1. 11	青海	大照院
天然記念物	指月山のミカドアゲハ	昭37. 1. 11	堀内	萩市



旧繁沢家長屋門



明倫館遺構聖賢堂

TRC102093

学校位置図



教育要覧 1983年

昭和58年6月15日印刷
昭和58年6月16日発行

Y37D
L3

発行人 萩市教育委員会
(萩市江向510)
印刷所 桜プリント企業組合萩支店
(萩市御許町46)

